

# 日本体育学会 体育哲学専門領域

## 2020年度 第2回 定例研究会プログラム

日時：2020年12月5日(土) 9:00～16:00  
オンラインによる開催

### 1. 日程

9:00	メーリングリストにて発表資料および代表挨拶の閲覧情報を配信 発表①：発表資料の閲覧開始（16:00まで）	→	発表資料 閲覧
12:00	質問・意見等受付開始 ※1		
13:00	質問・意見等受付終了		
14:00 ※2	メーリングリストにて質問・意見等への回答の閲覧情報を配信 質問・意見等への回答の閲覧開始（16:00まで）	→	
16:00 17:00	発表資料の閲覧終了、質問・意見等への回答の閲覧終了、副代表挨拶の閲覧情報を配信 専門領域総会		

※1 質問・意見は12:00～13:00の間、メールにて受け付けます。

※2 14:00を予定していますが前後することがあります。

### 2. オンライン開催のお願い

オンライン開催のため資料、動画はインターネット経由で提供されます。以下の点にご協力をお願いします。

- 資料、動画のURL情報を**第三者に提供することを禁止**します。
- 資料、動画の**ダウンロード、スクリーンショット、画面録画・録音を禁止**します。
- 質問・意見等には、発表者に可能な範囲で回答いただきます。**回答に対する質問・意見等は受け付けません。終了後のやり取りは禁止**します。

### 3. プログラム

#### 【代表挨拶】

9:00 開会：代表挨拶 関根 正美（日本体育大学）

#### 【研究発表】

9:00 発表① 荒牧 亜衣（武蔵大学）  
演 題 <オリンピック・レガシー>再考：2013年以降における日本国内先行研究の検討から

#### 【副代表挨拶】

16:00 深澤 浩洋（筑波大学）

#### 4. 発表抄録

##### 【発表者・演題】

荒牧 亜衣（武蔵大学）

<オリンピック・レガシー>再考：2013年以降における日本国内先行研究の検討から

##### 【抄録】

<オリンピック・レガシー>という概念が、大会招致の文脈において積極的に使用されるようになったのは、2000年前後のことである。今日では、将来開催されるオリンピック競技大会を肯定する道具として、さらには、過去の大会を再評価する枠組みとしても用いられるようになったことが指摘されている。本発表では、東京2020大会招致が決定した2013年以降における日本国内の先行研究の検討を通じて、この概念の実態について明らかにすることを試みる。

定例研究会に関するご質問・ご意見は下記までお願いします。

##### 【問い合わせ先】

森田 啓（研究担当）： [hirakumorita@p.chibakoudai.jp](mailto:hirakumorita@p.chibakoudai.jp)